

【技術名】 プール育苗技術

## プール育苗法を導入すると、かん水や換気作業の時間が大幅に短縮されます！

### 【技術の要約】

プール育苗は、慣行に比べかん水作業で約7割、換気作業で約4割の作業時間が短縮できる省力育苗法です。苗質、本田での生育は慣行育苗法と同等です。

### 【技術の内容】

- 1 均平な育苗床にビニール類と型枠でプールを設置し、湛水状態としたプール内で育苗する方法です。
- 2 プール育苗による苗質、本田での生育は、慣行育苗法と同等です。
- 3 プール育苗法は、慣行に比べてかん水作業で約7割、換気作業で約4割の作業時間が短縮できます。
- 4 育苗期の病害のうち、苗立枯病(リゾープス属菌、ピシウム属菌及びフザリウム属菌)に対する発生抑制効果があります。



図 大型パイプハウス方式（左）とトンネル方式（右）

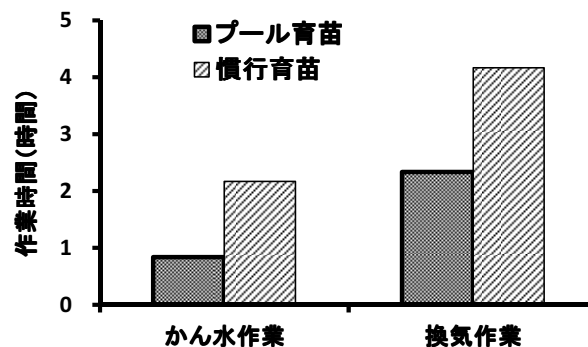


図 育苗のパイプハウス方式におけるプール育苗の省力性（2,400箱分の事例）

### 【留意事項】

- 1 この技術は、平成20年度普及技術です。
- 2 育苗施設はパイプハウス方式、トンネル方式、出芽法は蒸気式育苗器の利用、平置き育苗いずれにも適します。
- 3 プールへの入水は緑化終期からとし、初期は苗箱肩までの浅水管理を行い、徐々に深水にします。苗の徒長を防ぐため、慣行方式に比べて早めにハウス等の側面を開放し、温度上昇を防ぎましょう。